



1969. 11. 26

1969~1970 第21号

第276回例会

◎ニコニコボックス

1. 平野会員、宮崎会員、市川会員、俣野会員、外山会員、太刀川会員、山辺会員、飯田会員、深瀬会員、木村会員お誕生おめでとございます。
2. 船矢会員、太刀川会員、成田会員、西村会員ご結婚記念おめでとございます。
3. 青柳会員、●、花園町に新店舗開設ご繁栄をお祈り致します。
4. 関本会員、会社増資おめでとございます。
5. 大沼コース、ドライブコンテストに宮崎会員優勝、岩塚会員準優勝おめでとございます。
6. 大沼コースに於いてのゴルフ大会杉本会員優勝

◎映画 ミハワイ大会

◎職業奉仕とは

ロータリーの四つの奉仕の中で、一番わかりにくいのが職業奉仕です。何故だろうか。それは職業奉仕が、自分の職業をどう考えるかという根本問題に関連するからではないだろうか、我々はよく「奉仕こそわがつとめ」という言葉をよく口にする。しかし実際に日常の業務を遂行する場合には、その通りに行かない場合がかなりある。また自分自身を顧みても果してロータリーの職業観に徹しているかどうか、それも簡単にいい切れぬところが多い。そんなことから、職業奉仕自体までも、わかり難いものになってしまうのではないだろうか。

ロータリーの掲げる四つの奉仕は、いずれも住みよ世の中を作り上げるのが目的である。ところが四つの奉仕の内、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕の三つは、奉仕の前に「…に対する」と4字を入れてみると、職業に対する奉仕となつて、かえつて意味がわからぬことになってしまう。これは前の三つは、クラブ、社会、国際がそれぞれ奉仕の目的であるのに、職業奉仕の場合は、職業は目的でなくて手段であるからである。ところで職業を通しての奉仕ということになると、当然のことなのだから、一体、職業とは何ぞや、という根本問題が出てくる。そして同時に、自分の職業をどう考えるかということが、第一の問題となつてくるのである。ロータリーでは職業奉仕のことを「ヴォカショナルサービス」といつているがヴォケーションとは神に召さるという意味で、日本でよくいう天職と云う考え方と同じである。天から自分に与えられた仕事であると考えて、その使命を全うして行こうとすることは、ロータリーの精神であり、また日本の考え方でもある。こう考える事によつて、始めて自分の仕事に誇りと喜びを感じることが出来るのである。こうなると、ロータリーの職業奉仕は、自分自身を省みて、自分はこのロータリーの職業観に徹しているかどうか、の反省から出発しなければならぬことになるのである。

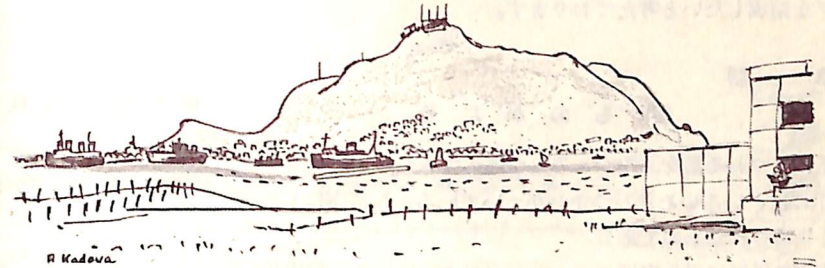
(ロータリーの友より)

次回例会日11月19日です。

次週プログラム

未 定

REVIEW AND RENEW (F・コンウェイR.I.会長)  
再検討し 刷新しよう



洞爺丸慰霊碑より函館山を望む

角谷隆一

本日のプログラム

会員卓話 “未 定”

谷口会員

◎出席報告

11.19 会員数 43名 出席 28名 欠席 15名  
 前回の出席 会員数 43名 出席 33名 欠席 10名 メーキャップ 9名 97.67%  
 他クラブ状況 函館R.C. 92.17% 函館東R.C. 92.94%

第275回例会記録

◎司 会 外山 定 男 会 長

◎斉 唱 手に手つないで

◎ピジター 野口誠一郎君 (小樽R.C.シニヤ)  
 高梨 通宣君 (東京東村山R.C.プラスチック製品製造)  
 函館 R.C. 角田浩一君 外3名  
 函館東R.C. 森岡 勝君 外6名



◎ニコニコボックス

1. 深瀬会員道南医学会で「東風が吹けば交通事故が多くなる」を発表、会員の皆様から、アイデアを頂き有難うございます。
2. 来月24日クリスマス家族会を開催します。5時から例会、6時から家族会、明細後日、連絡申し上げます。

◎遠藤七飯特別代表

第一回10月28日七飯キーマンと会合、11月10日チャーターメンバー予定者と会合、富田拡大委員、俣野、木屋、市川各会員出席、チャーターナイトに持つて行き、立派なクラブを結成したいと考えております。

◎卓 話

「爪ものがたり」

俣野純夫会員

爪にまつわる話をふたつ・みつつ述べてみたいと思います。小学校では、よく朝会で、爪には、いろいろなバイキンがついているから清潔にしておかねばならないとやかましく指導されたものである。

実際に爪には寄生虫卵やダニなど発見されている。健康体の爪は形も立派で血行がよくなっている。

最近、数年は農業のおかげで蛔虫の寄生は少くなりました。爪について思い出すことは戦地に行く際に遺品として、爪、毛髪を残して悲痛の決意で出発したものです。

平和になつてから、ダム建設の人々が爪を集めてコンクリートの基礎に埋めて安全を祈るとともに成就を期待している事をきいて感激にうたれました。

戦後20年になつて医者として苦勞していることがあります。それは婦人のマニキュアが多くなつたことです。このため爪の血色がわからなくなつたことです。爪を伸ばす人も多く、血液循環が不完全になると爪の色は紫色となつてきます。爪を見ると心臓の働きが予想されるのです。これがピンク色、金色にぬられていると全くみわける事が出来なく医者の判断を迷わされるわけです。

次回例会日12月3日です。

次週プログラム

ロータリー財団について

函館東R.C. 太泰会員

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)

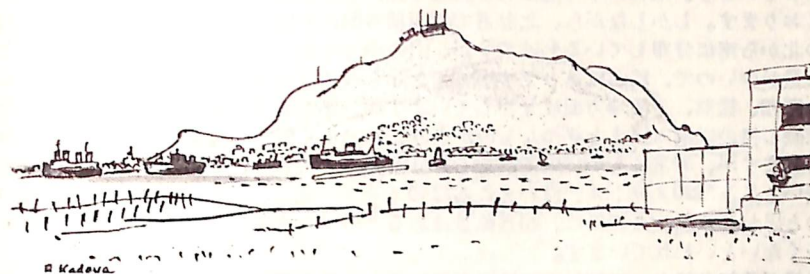
再検討し 刷新しよう



1969. 12. 3

1969~1970 第22号

第277回例会



洞爺丸慰霊碑より函館山を望む

角谷隆一

本日のプログラム

卓話 ロータリー財団について

函館東R.C. 太泰会員

◎出席報告

11.26 会員数 43名 出席 33名 欠席 10名  
 前回の出席 会員数 43名 出席 27名 欠席 16名 メーキャップ 11名 88.37%  
 他クラブ状況 函館R.C. 95.73% 函館東R.C. 97.65%

第276回例会記録

- ◎司 会 外山定男会長 ◎斉 唱 我等の生業  
 ◎ピジター 函館R.C. 伊部政次郎君 外11名  
 函館東R.C. 井村 守治君 外6名

◎ニコニコボックス

1. 小村会員 ホームクラブに仕事の関係上出席出来ず申訳ありません。
2. 成田会員 社員の若い2名が北海道知事より表彰を受ける。

◎情報委員会より

米山梅吉氏の解説

米山梅吉氏は日本における、ロータリーの創立者でありロータリーに対する理解者と情熱の深さは誰しも認め尊敬されている。いわば日本のポールハリスとも云うべき人である。同氏が今から、29余年前翻訳されたポールハリスの「リス、ロータリアン、エージ」で解説されているロータリーについての問題を今後機会ある毎に掲載してみたい。「ロータリーは代表のおよび専門職業人の集結にして、奉仕のロータリー哲学を信じ事